

# OMINOUS PARALLELS

1929年大恐慌、ITバブル崩壊と通じる共通点  
 今のAIブームは「大恐慌」の前夜なのか!?  
 熱狂する株式市場の危険な兆候

AIへの投資熱に沸き、史上まれに見る活況を呈する米国株式市場。しかしその裏で、市場崩壊の危険性がささやかれている。仮想通貨や生成AIといった新テクノロジーの隆盛とそれに伴う株式市場の盛り上がりは、かつて自動車やラジオが登場した際の熱狂と酷似している——そう指摘するのは、金融に詳しい気鋭の米ジャーナリスト、アンドリュー・ロス・ソーキン氏だ。昨今のAIブームはもうすぐはじける「バブル」なのか？ だとすれば今後、何が起こり得るのか？



番組ホスト

ファリード・ザカリヤ

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル「フォーリン・アフェアーズ」編集長、ニュース週刊誌「ニューズウィーク」の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。



ゲスト

アンドリュー・ロス・ソーキン

米国のジャーナリスト。ニューヨーク・タイムズ紙の金融コラムニストで、CNBCの看板ニュース番組「スクワークボックス」のホストの一人。2008年の「リーマンショック」について、膨大な量の取材を元に著したToo Big to Fail (2009年刊行。邦訳「リーマン・ショック・コンフィデンシャル」早川書房＝刊) は大ベストセラーになり、映画化もされた。エミー賞を含む、数々の受賞歴がある。



Listening Quiz

## 59 AIブームは間もなくはじけるバブルか？

*The American stock market has rarely looked hotter. Investment in AI is high and the Trump administration wants to add to the momentum, loosening regulations on the financial sector and stirring up cryptocurrency mania. So are we headed toward a market crash? Who better to ask than Andrew Ross Sorkin, the author of the new book, 1929: Inside the Greatest Crash in Wall Street History—and How It Shattered a Nation.*

\* \* \*



**Fareed Zakaria** Andrew, welcome. First of all, terrific book...



**Andrew Ross Sorkin** Thank you.



**Zakaria** ...and...and so vivid, so many people who are colorful characters. I've always known about the crash, but I didn't really know about the people who were involved in it. When you look at that, what are the echoes that you're seeing right now? Because, you know Robert Shiller, the Nobel Prize-winning economist, has this index which tracks, basically, how stocks are valued, and right now, it is the highest in years, the only two comparable peaks being 1999 right before the dot-com crash, and 1929, before the market crash.\* Do you think his chart is correct?



**Sorkin** I think his chart is correct. And the truth is when I began this project—it took me eight years to write this book—I didn't know that I was walking into a situation where,

ominous:

《タイトル》不吉な、不気味な

stock market:

株式市場、証券市場

add to:

～を増加させる、助長する

momentum:

勢い、はずみ

loosen:

～を緩める、緩和する

regulation on:

～に対する規制、法規

stir up:

～をかき立てる

cryptocurrency:

暗号資産、仮想通貨

mania:

熱狂、(異様なほどの)ブーム

crash:

(相場)の下落、(市場)の崩壊

shatter:

～を打ち砕く、粉碎する

terrific:

すごくいい、素晴らしい

vivid:

生き生きとした、鮮やかな

colorful character:

興味深く並外れた人物

echo:

共鳴するもの・こと、反復

index:

指標

track:

～をたどる、追跡する

value:

～を評価する、値踏みする

comparable:

匹敵する、比較できる

peak:

最高点、ピーク

the dot-com crash:

ITバブル崩壊 ▶2000年3月から始まったテック関連の株価の大幅下落。

chart:

図表、グラフ

＊お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

アメリカの株式市場はかつてないほどの活況を呈しています。AIへの投資は高水準にあり、トランプ政権はその勢いにさらに拍車をかけようと、金融セクターの規制緩和を進め、暗号資産の熱狂をあおっています。それで、われわれは株式市場の暴落に向かっているのでしょうか。それをお聞きするのに、この方ほどふさわしいゲストはいないでしょう。最新刊『1929年：ウォール街史上最悪の株価暴落の内幕——それはいかにして一國を瓦解させたか』の著者アンドリュー・ロス・ソーキン氏です。

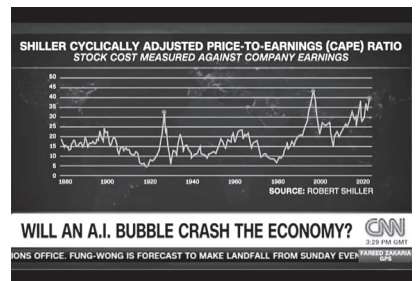
＊ ＊ ＊

**ファリード・ザカリア** アンドリュー、番組によこそ。まず、素晴らしい本ですね……

**アンドリュー・ロス・ソーキン** ありがとうございます。

**ザカリア** ……（当時の様子が）生き生きと、そして大勢の個性的な登場人物が描かれています。株価暴落のことは以前から知っていましたが、それに関わった人々のことはよく知りませんでした。当時のことを振り返って、今また繰り返されていることは何でしょうか。というのも、ノーベル賞受賞の経済学者ロバート・シラー氏は、要は株価の動向を追跡する指数を考案しましたが、現在その指数が、近年で最も高くなっていますね。それに匹敵する2回の株価のピーク時は、ITバブル崩壊直前の1999年と大恐慌の前の1929年です。シラー氏のグラフは正しいと思いますか。

**ソーキン** 正しいと思います。実は、この本を書き始めたとき——書き上げるのに8年かかりましたが——執筆中、当時と同じようなことが今リアルタイムで起きるのを目にすることになるとは思ってもいませんでした。



ザカリアが言及しているロバート・シラー（上）の指標とは、「CAPEレシオ」のこと（下）。株価を過去10年間のインフレ調整済み平均収益で割って算出される株式評価指標で、企業の持続可能な収益力をより正確に把握することを目的とする

■ the only two comparable peaks...

1929年は「世界恐慌」を引き起こしたウォール街の大暴落のあった年。投機熱と過剰なレバレッジ（借り入れによる投資）が頂点に達した後、株価が暴落し、パニック的な売りが発生した。その後、長期にわたる深刻な経済停滞、失業者の急増、銀行の破綻などをもたらした。

1999年は、いわゆる「ドットコム・バブル」「ITバブル」がピークに達した時期。当時、インターネット関連企業に過剰な投機的資金が流れ込み、株価が急騰。技術革新に対する熱狂によってたぎつけられたものだったが、多くの企業は収益性が低く、実態価値が伴っていなかった。2000年初頭からバブルの崩壊が始まり、多くの企業が倒産に追い込まれた。